

令和4年度第1回二宮町文化財保護委員会 次第

日 時 令和4年5月18日（水）

午後1時30分から

場 所 ラディアン ミーティングルーム1

1. 開 会

2. 委嘱状の交付

3. 教育長あいさつ

4. 自己紹介

5. 委員長及び副委員長の選出について

6. 議 題

(1) 令和4年度文化財保護関係事業及び予算について 【資料1】

(2) 令和4年度文化財関係事業予定について

(i) 『ふるさと再発見8』の発行について 【資料2】

(ii) 「伊達時彰徳碑」の説明板の改修について 【資料3】

(iii) 令和4年度ミニ展示について 【資料4】

7. 閉 会

令和4年度 二宮町文化財保護関係予算及び事業について

(単位：千円)

事業名	説明	時期	令和4年度	令和3年度	増減
文化財保護普及啓発事業	文化財の保護、郷土資料の保管と共に知識の普及啓発を図る		873	306	567
・文化財保護委員会	文化財保護について審議する (委員5名・年2回)	年間	62	62	0
・文化財資料密閉ガス 燻煙委託	文化財資料(古文書・民具等)の燻煙	8月 9月	39	39	0
・町指定文化財管理 補助金	町指定文化財13件のうち11件を助成	年間	200	200	0
・社会教育刊行物出版	『ふるさと再発見8』の出版 (新規事業)	令和5年 3月	237	0	237
・伊達時彰徳碑説明板改修	二宮駅南口広場にある伊達時彰徳碑 の説明板改修(新規事業)	12月	330	0	330
・その他	消耗品費	年間	5	5	0
伝統芸能保存事業	郷土に伝わる伝統芸能を保存する		603	575	28
・民俗芸能のつどい	町民俗芸能保存会連絡協議会加盟団体 (15団体)による成果発表会とパネル 展(パネル展のみ新規事業)	10月	133	105	28
・民俗芸能保存会 連絡協議会補助金	民俗芸能保存連絡協議会及び各団体 への補助金	年間	380	380	0
・二宮高校相模人形芝居 補助金	二宮高校相模人形部への補助金及び 民俗芸能のつどい出演謝礼	年間	90	90	0
埋蔵文化財調査事業	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為にお いて、必要に応じて試掘調査を行う		469	455	14
・埋蔵文化財試掘調査 委託料等	試掘調査費等	年間	469	455	14
		合 計	1,945	1,336	609

(2) 令和4年度文化財関係事業予定

(i) 『ふるさと再発見8』の発行について

A6版 100ページ程度 発行部数 300冊 販売予定価格 500円

出版社 ホープ 令和5年2月発行予定

【執筆者】

鈴木一男委員

テーマ 「二宮町の埋蔵文化財と諏訪脇横穴墓群」

概要 二宮町における発掘の歴史と諏訪脇横穴墓の出土品から考える被葬者について

*序文を前文化財保護委員の杉山幾一氏に依頼しています

古宮雅明委員

テーマ 「富士山宝永噴火の被災と二宮地域」

概要 被災地全体の状況を踏まえながら、中里の高橋家に残る史料を素材にして、二宮地域の被災状況とその後の復旧・復興の経過と幕府や旗本領主などの公権力の関わりを、他地域の史料なども用いて、わかりやすくまとめる。



伊達氏彰徳碑

この碑は、明治維新以降に郷土二宮の発展と社会福祉の増進に尽力された、伊達時氏の功績を後世に伝えるため、二宮駅開設五十年を記念し、昭和二十六年（一九五一年）町民有志により建てられたものです。

伊達時氏は、医師として、中郡、神奈川県の医療の発展・充実に努めると共に、衆議院議員としても、憲政の発展と地方自治の振興のため活動し、二宮駅の開設や、二宮駅を中心とした交通網の整備、教育の振興を図るなどし、多方面にわたる公共事業に尽力されました。

石碑には、次のように碑文が刻まれています。

「伊達時君は予君の嫡男嘉永二年当地に生る。資性頗敏、医を侍医伊藤方正、緒方惟準に学び父祖の業を継て令名あり。又儒を安井息軒に書を永原俊章に学び出藍の誉あり。夙に心を厚生済民に潜め、板垣退助、陸奥宗光等維新の志士と交り、就中伊藤博文公の知遇を享く。明治三十三年二宮駅創設の議起るや率先奮起、万難を排して土地の有志田中喜太郎、西山京次郎、松木友三郎等と相謀り、当駅開設を促進実現せしむ。その他広く社会公共福祉の為奉仕尽瘁す。遠近その徳を仰ぎ、明治三十六年衆議院議員に推挙、当選更に驥足中原に馳せて国事に貢献する所大なりしが、惜しむべし、大正五年病を以て卒す。行年六十有八。嗚呼湘南僻海の一寒村忽ち変じて町制を布き、今日の隆盛を致せし所以、一に君が献身の道徳に基づくかざるはなし。今茲に二宮駅五十年記念式典挙行を期し、町民相謀り、君が勲績を不朽に伝え併せて、後進誘掖の資となさんと云爾。

平成十七年十二月

二宮町教育委員会

令和4年度 ミニ展示企画(案)

	展示内容	展示場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	二宮駅開設120周年記念展示	図書館1階	←→ 4月16日～5月15日								
2	大地に眠る二宮の歴史展(1)	展示ギャラリー2				←→ 7月5日～7月31日					
3	民俗芸能のつどいパネル展	展示ギャラリー2						←→ 10月22日～10月30日			
4	二宮町の指定文化財パネル展	展示ギャラリー2							←→ 11月5日～11月30日		
	展示内容	展示場所	1月	2月	3月						
5	絵で見る昔の二宮	展示ギャラリー2	←→ 1月24日～2月12日								
6	大地に眠る二宮の歴史展(2)	図書館1階			←→ 3月7日～3月26日						

1	二宮駅開設120周年記念展示	二宮駅の歴史がわかる切符や写真などをショーケースで展示する
2	大地に眠る二宮の歴史展(1)	二宮町の埋蔵文化財包蔵地から出土した土器や石器などをショーケースで展示し、パネルで説明する (『ふるさと再発見8 大地に眠る二宮の歴史』を出版するにあたり、町の埋蔵文化財に興味を持ってもらう)
3	民俗芸能のつどいパネル展	主催は二宮町民俗芸能保存連絡協議会 各団体の紹介や演奏風景などのパネル展示を行う (民俗芸能のつどいは10月23日(日)の予定)
4	二宮町の指定文化財パネル展	11月1日～7日は文化財保護強調週間であることから、町の指定文化財を知ってもらうためにパネル展示を行う
5	絵で見る昔の二宮	大正時代～昭和初期を描いた水彩画と説明文(故池田精一郎氏)7枚を展示し、ショーケースで当時の民具等を見せる
6	大地に眠る二宮の歴史展(2)	二宮町の埋蔵文化財包蔵地から出土した土器や石器などをショーケースで展示する (『ふるさと再発見8 大地に眠る二宮の歴史』を出版するにあたり、町の埋蔵文化財に興味を持ってもらう)

* 現在予約が入っている日を除き期間を設定しましたが、新たに予約が入った時は期間を短縮または変更する場合があります。

二宮駅開設120周年記念展示

明治35（1902）年4月15日に二宮駅が開設されてから、本年で120周年を迎えました。

二宮町の発展は二宮駅の開設と湘南馬車鉄道の開通抜きでは語れません。そこで4月16日から5月15日まで、二宮町図書館1階で二宮駅にまつわる資料を展示いたしました。

主な資料

- * 東海道線と軽便鉄道（湘南軌道）の乗り継ぎ切符 大正10～11（1921～1922）年
- * 湘南軌道時刻表（東海道線との連絡時刻表） 大正12（1923）年10月21日
- * 撃ち抜かれた楽譜 昭和20（1945）年8月5日
- * 旧二宮駅プラットホームの写真 昭和24（1949）年
- * 二宮駅橋上駅舎落成記念切符 昭和57（1982）年10月8日
- * 町制施行50周年記念入場券 昭和60（1985）年11月3日



東海道線と軽便鉄道（湘南軌道）の乗り継ぎ切符



撃ち抜かれた楽譜



（右）タウンニュース5月6日号
にも取り上げられました

2022年寅薬師めぐり

寅薬師とは、お薬師様が寅年にご縁があることから催される12年に1度の御開帳で、境内に建てられた回向柱とお薬師様の手が五色の糸や布で結ばれ、それに触れると願い事がかなうといわれています。

二宮町内では4月8日～12日に、等覚院、茶屋薬師堂、中里コミュニティーセンター、下町老人憩の家の4か所で行われ、地域に残る文化財が公開されました。

1. **等覚院** 木像薬師如来立像 寄木造 玉眼 131cm 享禄5 (1532) 年
銘のある仏像の中では、町内で最も古いもので、両肩を衣で覆い、薬壺を左手に立つ。
2. **茶屋薬師堂** 木造薬師如来坐像 像高 261.5cm 面長 48.5cm 寄木造 彫眼 漆箔 江戸時代
昭和49 (1974) 年6月5日に町の文化財に指定
3. **中里コミュニティーセンター (旧中里薬師堂)** 木像薬師如来立像
『新編相模国風土記稿』には、「薬師堂 行基の作仏 長二尺六寸一分を本尊とす。脇立日光月光、及び十二神の像を置。ニノ宮村大應寺持」と書かれている。
4. **下町老人憩の家** 木造薬師如来立像 像高 28.0cm 一木造 彫眼 漆箔 江戸末期～明治時代

1



2



3



4



(右) タウンニュース4月15日号にも
取り上げられました

二宮町の文化財

《神奈川県指定文化財》

ナシ・モモ原木群



指定区分 天然記念物
 指定日 昭和47年7月
 所在・保管 二宮町二宮1217
 概要 かつての神奈川県農事試験場二宮園芸部で品種改良され、現在の品種につながるナシ・モモの原木は果樹育成の歴史的事実例として重要。

《二宮町指定重要文化財》

1. 木像薬師如来坐像



指定区分 有形文化財（彫刻）
 指定日 昭和49年6月
 所在・保管 二宮町山西550-1 茶屋薬師堂
 概要 もとは川勾神社の本地仏で、寄木造り・彫眼漆箔の坐像。作者不明。江戸時代の作と推定される。
 像高261.5cm 面長48.5cm

補助金額 40,000円

2. 木像阿弥陀如来立像



指定区分 有形文化財（彫刻）
 指定日 昭和49年6月
 所在・保管 二宮町一色765 浄源寺
 概要 寄木造り・彫眼漆箔の立像。作者不明。平安末期の作と推定される。
 像高99.9cm 面長9.6cm

補助金額 10,000円

3. 梵鐘



指定区分 有形文化財（工芸品）
指定日 昭和49年6月
所在・保管 二宮町山西793 等覚院
概要 銅造の梵鐘で寛永8年（1631）の銘をもつ。町内現存の最古のものである。

補助金額 5,000円

4. 弥生土器



指定区分 有形文化財（考古資料）
指定日 昭和49年6月
所在・保管 二宮町二宮1240-10 二宮町生涯学習センター
概要 昭和47年秋葉山宅造工事の際出土。弥生時代中期の土器（つぼ型）。
高さ15.3cm 中央周囲51.0cm 首部25.2cm

補助金額 0円（教育委員会所蔵のため）

5. 田舟



指定区分 有形文化財（考古資料）
指定日 昭和49年6月
所在・保管 二宮町山西2122 川勾神社
概要 全容の半形であるが、奈良時代の頃まで田植えに使用されていたと推定される。
長さ141.0cm 幅31.3cm 厚さ4.8cm

補助金額 5,000円

6. 古文書11点



指定区分 有形文化財（古文書）
指定日 昭和49年6月
所在・保管 二宮町山西2122 川勾神社
概要 小田原北条氏虎印判状4状、徳川家康公五十石寄進状等、計11点。

補助金額 10,000円

7. フジの木



指定区分 史跡名勝天然記念物
指定日 昭和49年6月
所在・保管 二宮町山西793 等覚院
概要 『新編相模国風土記稿』『海道記』にも紹介されているフジの木。推定樹齢400年。

補助金額 10,000円

8. 古文書77点



指定区分 有形文化財(古文書)
指定日 昭和50年9月
所在・保管 二宮町二宮1240-10 二宮町生涯学習センター
概要 茶屋・松屋本陣の様子を知ることができる古文書。御休帳、諸大名帳等、計77点。

補助金額 0円 (教育委員会所蔵のため)

9. 中里祭囃子



指定区分 無形文化財(民俗芸能)
指定日 昭和50年9月
所在・保管 二宮町中里903-3 中里老人憩いの家
概要 明星神社の祭囃子は江戸文化華やかな文化文政頃に発生し、地域に根ざして伝わってきた。一時活動は鈍ったが昭和46年に保存会が結成され、以後町内各地の祭りばやしの指導的立場にある。各種の道具及び7曲が指定されていいる。

補助金額 10,000円

10. カヤの木



指定区分 史跡名勝天然記念物
指定日 昭和52年1月
所在・保管 二宮町川匂230 西光寺
概要 郷土固有の樹種で、樹高18.2m
推定樹齢約500年。

補助金額 10,000円

11. タブの木



指定区分 史跡名勝天然記念物
指定日 昭和50年9月
所在・保管 吾妻橋近く 個人蔵
概要 二宮町内で最大の樹木。推定樹齢約300年。
樹高15.0m

補助金額 10,000円

12. 蘇峰堂の庭園



指定区分 史跡名勝天然記念物
指定日 平成13年2月
所在・保管 二宮町二宮605 財団法人徳富蘇峰塩崎財団
概要 庭園にある梅の古木は70本以上で、梅の香漂う季節には多くの人々を楽しませる。

補助金額 70,000円

13. 木像隨身倚像2体



指定区分 有形文化財(彫刻)
指定日 平成19年3月
所在・保管 二宮町山西2122 川勾神社
概要 平安時代後期の作とみられ、神奈川県下における一木造の現存最古の像と言われている。

補助金額 20,000円